

歌糸集落鳥獣被害対策研究会の取組



令和2年度鳥獣対策優良活動表彰

宮崎県延岡市

歌糸集落鳥獣被害対策研究会

代表：梅田 繁美

集落の被害状況

平成19年頃から、水稻を中心にシカ、イノシシ、サル、鳥類による農作物被害が拡大



平成23・24年度にネット柵導入
(国の補助事業活用)



期待ほど被害を防げず。
平成26年は町全体の水稲
被害面積の8割に当たる約
2.3haの被害が発生



イノシシの被害を受けた水稲

柵の設置で被害が防げなかった原因

- 柵の周辺に草が繁茂
- ネット柵の押さえが甘い
- 動物に破られたまま放置 など

対策の理解が不十分

平成27年4月～

県の鳥獣被害対策モデル集落
集落全体で被害対策を開始

平成28年

歌糸鳥獣被害対策研究会誕生



被害対策の取組

①基礎研修の実施（みんなで勉強）

被害対策への理解を深めるきっかけ



②集落環境点検

定期的に集落環境点検を実施



集落環境点検の様子

②集落環境点検

点検結果の共有とマッピングによる見える化



被害対策の機運が高まった

③鳥害対策展示ほの設置

県鳥獣被害対策支援センターと連携し、鳥害対策の展示ほを設置



カモ対策展示



スズメ対策展示

鳥害の減少

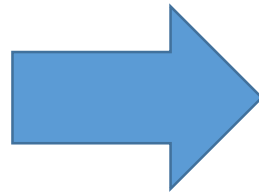
④獣のエサ場と潜み場の除去

集落環境の改善の取組

（耕作放棄地の刈払、収穫しない果樹の伐採等）



集落内の潜み場（対策前）



集落内の潜み場（対策後）